

ほっかいどう N I E 通信

Newspaper in Education



発行 北海道 NIE 推進協議会

〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6 北海道新聞社内 ☎011-210-5802 FAX 011-210-5826

09年度道内NIE実践校

初の50校突破へ

5月19日締め切り

2009年度の道内NIE実践校は4月20日現在で49校が内定した。新
規校の推薦の最終締め切りは5月19日のため、今後名乗りを上げる実践校は
増える見通しで、最終的には50校を超え、過去最多となる。道内の実践校は
各都道府県別でも最も多い。

4大学を独自認定

内定したのは日本新聞教
育文化財団認定が33校、当
協議会独自認定が16校。財
団の認定校は予算の関係で
数が限られているため、実

最多で8紙となる。提供期
間は最長4カ月間。
財団認定校は新規15校、
継続18校で、7月15日の同
財団NIE委員会で正式決
定する。
当協議会が独自認定する
16校のうち、新規は今年度

内定校は以下の通り。
【財団認定】◇新規▽小学
校 旭川・忠和、釧路・鶴
野▽中学校 帯広・西陵、
釧路・道教育大釧路、函館・
五稜、池田・高島、釧路・
美原、札幌・稲穂▽高校
函館稜北、石狩翔陽、室蘭
大谷、札幌清田、江差、洞

爺
◇継続▽小学校 網走・
白鳥台、滝川・東、音更、
札幌・平和、札幌・八軒、
札幌・北九条、深川・一巳
▽中学校 札幌・屯田中央、
同宮の森、江別・角山小中、
旭川・聖園、同永山、江差
▽高校 立命館慶祥中高、
登別大谷、滝川西、富川、
富良野
【協議会認定】◇新規▽大
学 北海商科、札幌国際、
道教育大旭川校、同札幌校
◇継続▽小学校 札幌・平
岡公園▽中学校 札幌・稲
積、同厚別、同定山溪、北
星学園女子中高▽高校 苫
小牧西、浦河、富良野緑峰、
由仁商業、札幌静修▽その
他 岩見沢医師会付属看護
高等専修学校、吉田学園医
療歯科専門学校

情報源の多様化・集中化
が予想以上の速度で進行
している。従前の書籍・新
聞・ラジオ・テレビに加え、
インターネット・携帯電
話・衛星等々、新たな
情報媒体が陸続と実
用化されつつあり、
その活用方法の拡が
りが注目される。そ
れぞれの媒体特性は
多くの場で整理され
ているが、「新聞」の
特性の一つに、地域
情報を豊富に詳細に提供
している面を強調したい。
地域素材から学習を組
み立てることは、子どもの
興味・関心の高まりや学習
内容の定着からみて効果



豊富な地域情報を教材に

札幌市栄緑小学校長 吉川 秀樹

取り組みの経過と現状が
紹介されていた。本年度
も22カ所で工事を進め、対
応率30%達成を目指すこ
とである。
「便利になるな」「なるほ

ど」の感想ぐらいで読み過
ごしてしまいがちな情報
であるが、教育素材を求め
る視点から見直してみる
と、短い記事の中に学習材
料の宝庫が隠れている。

税金と暮らしの向上につ
いて探る―など、社会科・
道徳・総合的な学習と種々
の教科領域での教材がで
きそうである。
改修対象の公園が近く

であれば見学活動を組み
入れ、関わった人々や利用
者から取材することでも一
層実感的で納得を伴った
学習をもたらすことにも
なる。地域素材の
有効性の大きな側面
である。
「学びへの関心を高
め、学んだことを生
活に生かす学習の成
立」に向けた授業改善
への取り組みは、多
くの学校・教員が最重
要視している喫緊の課題
である。さまざまな実践
研究が日々積み重ねられ
ているが、その一環として
「新聞活用」にも積極的
に挑戦していきたい。

社説「縮約」で 文章構成力磨く

菅原教諭 千歳高での実践発表

全国高校NIE研究会

「第7回全国高等学校NIE研究会」が、3月28、29の両日、東京都千代田区プレスセンターを会場に約70名の教師、新聞関係者が参加して開かれた。2013年度から実施される高校の学習指導要領とNIE、裁判員制度についての講演、各地のNIE活動の交流や実践者の発表があった。

(コーディネーター・高辻清敏)

学習指導要領は言語活動の充実がポイントとなり、NIE活動の中核となる記事の比較読みや、考えの主張を書き、思考力・表現力・判断力の育成を狙っているNIEには追い風になると歓迎した。講演は、5月実施が迫った裁判員制度について、読

売新聞社の丸山伸一編集委員が松本サリン事件を示しながら、報道の提供次第では読者の思考・判断力を混乱させる危険性があると指摘した。被告人が裁判で有罪が確定するまでは「推定無罪の原則」があり、報道の際には読者に予断と偏見を与えないように、事実が確定しない限り断定制の表現を避けて報道し、裁判員になりうる読者にはこれま



で以上の客観的な事実とそれ以外を読み分ける力が必要になると話した。実践交流は6人が発表。話す・聞く能力を狙いとして生徒と新聞記者が互いに教師にインタビュールして記事を書き、違いを学ぶ事例などを発表した。

参加者からは「縮約」「要約」指導の利点について質問があったが、今までに例のない実践で新鮮味があり好評だった。

7月30、31日に 長野で全国大会

日本新聞教育文化財団主催、長野県NIE推進協議会など主管の第14回NIE全国大会は7月30、31の両日、長野県民文化会館などで開かれる。30日は午後1時の開会式の後記念講演。パネルディ

スカッションでは「NIE身近に引き寄せるために」をテーマに4人のパネリストが意見交換、道内からは古畑理絵・札幌市宮の森中教諭が発言する。31日午前は、長野市内の3会場に分散、小中学校ごとの分科会が行われる。問い合わせは、北海道NIE推進協議会へ。

道教大函館校など NIE講座を開設

教員免許更新講習で今年度から実施される教員免許更新講習で、北海道教育大学函館校など全国13大学がNIE関連講座を開設する(文科省1・3回認定分)。同函館校を除く大学と講座は次の通り。

(関連記事3面「三叉路」)

朝、学校の廊下に朝刊が並べられる。まもなくして子供たちが集まり、記事を読み始める。一緒にいる子供同士、会話が始まる。新聞を読むようになって子供たちの社会に対する見方や考え方が広がったと感じる時だ。新聞を教育に取り入れる中で忘れられなかったことがある。それは新聞に掲載されていた中学生との交流である。

札幌市北郷小教諭 近井 祐介



品の一つ、道教大付属札幌中の大橋未祐さんの作文は、読み進めるうちに

胸が熱くなり、涙がこぼれそうになるものであった。受け持っていた4年生の児童にはあまり接しただ、その内容は児童に

NIE実践奮闘記

とって身近なものだったし、自分と近い年齢の中学生が書いた作文だ。加えて、子供たちが新聞に

掲載作品通し温かい交流

なれてきた時期でもあった。新聞の新しい見方にもなるのではないか。道徳の授業で取り上げた。授業日。読み進めていくうちに児童の中からすうり泣きが始まった。読み終わってから自分が感じ

たことを作文に書き、感じたことを伝え合った。どの子も真剣だった。授業後、子供達の作文を大橋さんの学校に送った。私にとっても、見知らずの人に手紙を送るという経験は初めてのことである。どうなるかわからないが、私も含め、皆がすばらしい勉強をさせてくれたことへのせめてものお礼だった。1週間後、返事が来た。大橋さんはとても喜

んでくれていた。その時知ったことだが、偶然にも彼女の誕生日に手紙が届いたそうだった。児童にとっても会ったことのない人から手紙をもらうことは驚きであった。同時に、「自分の書いたことが人に伝わると喜び、自信にもなった。教師が意図的に意識し関わらせることによって実現した、新聞活用の良さであると感じた。新聞は多くのことを伝え、考える場を与えてくれる。素晴らしい出会いに感謝し、実践を続けていきたい。

今年度から実施される教員免許更新講習で、北海道教育大学函館校など全国13大学がNIE関連講座を開設する(文科省1・3回認定分)。同函館校を除く大学と講座は次の通り。

新聞写真で読み考え表現

南幌町夕張太小の浅井真理子教諭は、1年のクラスで新聞写真を読み取り、自分の考えを表現する学習に取り組んでいる。PISA型の読解力向上を意識した授業は子供と新聞の距離を近づけ、子供たちの新聞に対する関心を高めており、教室での声は「楽しい！」と弾んでいる。

(北海道新聞NIE推進センター委員・小田原賢二)

南幌・夕張太小



子供たちのはつらつとした声がある夕張太小1年の授業

写真を使った授業は、1年(9人)の生活科で、昨年度9回実施した。いずれも北海道新聞に掲載された写真を使っている。

見学したのは2月27日の授業。教材は2月3日朝刊に掲載された「幕別で『牧豚犬』(ぼくとんけん) 特訓中」の写真で、最初にどんな写真か

実践校
リポート

1年生「楽しい！」

を子供たちにワークシートにメモさせ、一人ひとり説明させた。

そのあと、浅井教諭がなぜ新聞に載ったと思うか聞くと「犬と豚が競争している」「犬が豚を押している」などの感想が。さらに同教諭が「新聞に掲載されるのは珍しいか、普通なことだよ」と強調して、発問すると「犬が豚を誘導している」と正解が出た。

続いて、犬と豚に吹き出しを付けたワークシートを配布、犬と豚の心の声、気持ちを想像し、考えて、何と言ったかを書き入れさせた。子供たちは、犬の吹き出しには「かむぞ」「じゃまだぞ」「あつちへ行け」など。豚には「止めろよ」「そっちなんだ」「わかったよ」と書き入れ、各自が発表。

最後に浅井教諭はふりがなを入れた記事子供たちに渡し「豚を雪の中で放牧している農家は珍しく、牧豚犬は全国でここだけなので新聞に載ったんだね」と読み聞かせる

と、子供たちから「へー、そうなんだ」と一斉に大きな声。学習目標として、浅井教諭は①目的に応じて、必要な情報を取り出す(読解力)②取り出した情報を確かめ合う③読み取った情報を基に自分の考えを表現する(読解表現力)などを挙げていた。授業を重ねるごとに子供たちは写真を詳しく読み取るうとし、正解を出したいという気持ちが強くなったという。

同教諭は「家に帰り、学校でやったように家族に問題を出して楽しんだ話などを聞くと、この実践が家族とのコミュニケーションに活用され、ファミリーフォーカスの効果を生んでいると思う」と話している。

読解力向上に効果

9月19日締め切り

品には題字、日付、氏名、校名と学年、連絡先(住所、電話番号)を明記すること。

コンクールはNIE週間(11月2―8日)の関連行事。小中高校の各部門ごとに最優秀賞、優秀賞、優れた作品を

数多く出品した学校を対象に団体賞が選ばれる。

応募先、問い合わせは当協議会へ(〒066018711札幌市中央区大通西316北海道新聞社内011-21015802)。

狙え5連覇 わがまち新聞 今年も募集

NIE活動を広げるため、当協議会は「第5回わがまち新聞コンクール」を実施する。小中高校生を対象で、応募締め切りは9月19日(土)。道内の入選作品は日本新聞教育文化財団の全国審査に推薦されるが、道内の作品が過去4年連続で「全国一」に輝いており、今年も水準の高い作品の応募が期待される。

テーマは地元の名所、名物、人物、出来事、イベントなど自分が住んでいる地域を扱う。サイズはB4用紙から模造紙大までの1枚にまとめる(両面、複数枚は不可)。作

◆三叉路◆

阿部 二郎准教授

北海道教育大函館校

平成21年度から教員免許更新講習制度が施行されるが、北海道教育大学の五つのキャンパスではそれぞれの特徴を生かした講座開設を準備している。

函館キャンパスでは、6月、8月、11月、1月の4期で、必修講座2回と総計68の選択講座を開講する。

その中で6、8、1月に3回「NIE・新聞教育の方法と課題」をテーマに同一内容の講座を私が担当する。新聞教育・NIEをどう扱うかを目的に、新聞を教育で使う意味を

教員免許講習にNIE



問い直し
たい。

講習ではTKJを利用したワークシ

活動も含めて、新聞教育・NIEの基礎知識と多様な手法、リスク管理の観点などを取り上げる。

6月20日開講分の申し込みは、4月13―24日に受け付けた。単なる講義・演習だけではなく、校種、年齢の壁を越えて新聞教育・NIEのあり方を共に検討し合う機会にしたいと思っている。

全国紙の

取り組み

②

HPで調べ学習支援



職場体験学習で新聞について学ぶ札幌市立栄中の3年生＝昨年11月、読売新聞北海道支社で

東京本社では、2007年4月から編集局NIE事務局に、元都内公立中学校教諭の鹿野川喜代美氏をNIE企画デザイナーとして招へい。今年度も出前授業（記者派遣）や読売NIEセミナー、夏休み親子新聞教室、NIE土曜サロンなどの各種事業を展開する。4月25日に東京本社で開催したセミナーでは、「心豊かな子供を育てる―新聞の役割―」をテーマに、「声に出して読みたい日本語」

小中学生用ニュース提供

読売新聞社

などの著書がある斎藤孝・明治大学教授が基調講演した後、日本NIE学会会長ら3人が「言葉の力を育てる大人の役割」について意見を交わした。紙面では、4月から12月まで毎月中旬（8月は休載）に見開きカラー特集を掲載している。昨年は「省エネ生活」「身近な国際化」

道内では職場体験に力

「ボランティア」など、各回テーマを変えて記事をまとめた。今年も「学校の授業ですぐ使える」内容を目指す。このほか、ヨミウリオンラインに関連記事を随時掲載したNIEホームページ（<http://www.yomiuri.co.jp/nie/>）がある。紙面掲載した記事を小中学生用に分かりやすく読み解き、分野別に配置した「よみうり博士のアイデアノート」など、インターネットを利用した調べ学習を支援する仕組みも提供している。

北海道支社でも、出前授業のほか、中学校の職場体

昨年3月に告示された小中学校の新学習指導要領で、新聞の活用を促す表現が初めて記載されるなど、NIE実践の普及拡大が期待される中、読売新聞はNIE活動の推進、支援に各本社、支社を挙げて取り組んでいる。

（北海道支社編集部次長・報道課長 小笠原伸）

編集後記

○…前号この欄で、高校の新学習指導要領について、日本新聞教育文化財団が「国語」に新聞を読むことを記述するよう求めるパブリックコメントを文科省に提出した、と書いた。

○…「地歴・公民」「情報メディア」では、新聞等の活用を学習活動に取り入れたり、それぞれのメディアの特性や働きを扱うと規定しているが、「国語」では「新聞」の文字を使っていない。

○…3月に公表された同省の回答では「社会生活で必要とされている実用的な文章を読む活動」「話題や題材などについて調べる活動」で、新聞等の活用を取り入れることが考えられる、とだけで、曖昧模糊としている。

○…財団が再度問い合わせたところ、国語教科書づくりの指針となる解説書に「新聞活用」を盛り込むと言明したという。来年度から教科書作成が始まる。反映されることを望みたい。（小）

道内ではこのほか、北大大学院の講座「国際ジャーナリズム論演習」に本、支社の記者らを非常勤講師として送り込んでいる。



道内ではこのほか、北大大学院の講座「国際ジャーナリズム論演習」に本、支社の記者らを非常勤講師として送り込んでいる。

道内ではこのほか、北大大学院の講座「国際ジャーナリズム論演習」に本、支社の記者らを非常勤講師として送り込んでいる。

新指導要領の項もリーフレット改訂
新聞財団
日本新聞教育文化財団は、PR用のリーフレット「NIE 新聞でいきいき学習」Ⅱ写真Ⅱを2年ぶりに改訂し、発行した。

サイズは従来同様A4判三つ折り。内容は①新聞で読解力向上②多彩なNIEの実践③新聞財団のNIE活動のほか、「新学習指導要領とNIE」についても記述。昨年発表された新学習指導要領に新聞が数多く登場し、学習教材としてしっかりと位置づけられていることを紹介、小中学校各学年の「国語」に盛り込まれた概略も掲載している。一部十円。問い合わせは同財団へ（☎045-661-2003、FAX 045-661-2039）。

お知らせ
本年度のセミナー
釧路など9地区で
本年度の当協議会地区セミナーは、6月開催の釧路を皮切りに、7月開催の函館、9月の北見、江差の順

に、道内9カ所で開かれる。第8回釧路セミナーは6月20日（土）午後1時半から北海道新聞社釧路支社会議室で、同函館セミナーは7月3日（金）午後1時から函館白百合学園高等学校で開催される。函館では同中学高等学校の公開授業がある。